

## 市民団体との意見交換会の概要

## 1 開催概要等

目的	環境基本計画の策定及び改定にあたり、市内環境の実態及び環境活動の活性化等に結び付く取組等に関して意見交換を行い計画に反映していくことで、市民や市内の環境活動団体にとって意義のある計画にしていくことを目的とする。
日時	① 令和3年10月1日(金) 10:00～ ② 令和3年10月4日(月) 10:00～
参加要請団体数	13団体 (たかつき環境行動ネットワークに参画する市民団体のうち、活動を継続している団体全て)
参加団体数	6団体(12名)
資料	資料1 環境基本計画の見直しについて 資料2 第2次高槻市環境基本計画(令和4年3月改訂版)イメージ
不参加団体への対応	資料を送付し、メールにて意見の提出を依頼

## 2 意見概要と対応

No.	ページ	項目	意見概要	対応方針
1	21	基本方針	SDGs の説明はあった方がいいのではないかな。	SDGs の概要について、1 章の最後で、コラム欄を設けて説明することで、一層の理解を促すこととします。
2	21	基本方針	今回からは、SDGs の概念が各環境分野に追加されたことは良いことだと思う。今後は、持続可能な発展を目指していかなければならない状態にある。これからの時代を担う、子どもたちに（幼稚園児から大学生までの若い世代）に、SDGs への理解や行動を促していくことが大切である。	小学校での環境教育に役立ててもらうことを目的に、毎年全市立小学4年生向けに配布している環境副読本で SDGs 等について解説しているほか、総合計画をはじめとした各種の行政計画でも SDGs の概念を取り入れています。これらを通して、SDGs への理解や行動を促しています。
3	21	基本方針	環境行動の基本方針について、SDGs の3番の目標があるが、この分野では必要があるだろうか。基本方針を見る限り、どの項目にもあてはまらないように思う。	削除します。
4	22	基本方針	SDGs への貢献について、生活環境には、川や水のことを入っているので、14番の項目も追加してはどうか。また、自然環境でも、芥川・淀川は海に繋がっているので、14番を追加してはどうか。	市内の川において、水質を良好な状態に保つこと、生態系を保全することは、海の豊かさを守ることに繋がることから、生活環境、自然環境の基本方針に SDGs の14番「海の豊かさを守ろう」を追加します。
5	23	基本方針	自然環境の「良好に営まれている森林・農地の保全と創出」で、「～発揮されている状況」と記載されているが少し違和感がある。	基本方針には、目指すべき姿を示していますので、「～されている状況」と記載しています。

No.	ページ	項目	意見概要	対応方針
6	23	基本方針	「環境情報の共有」、「生物多様性の保全」とあるが、これらは質の問題である。例えば何%を緑にするなど数字で表すことは簡単である。しかし、質に関していえば、ただ緑があればいいわけではない。今の山の現状は手入れが行き届いていなく質の悪い状態である。こういった現状は、実際に活動している市民団体の方が分かっている。航空写真を見ても、昔とは随分と姿が変わっていることが分かる。せっかくの見直す機会なのだから、動植物の状況など全体を把握してみたい。計画を立てて終わりではなく、実際に実行していただきたい。	具体的な施策を展開中のご意見として、今後の参考にさせていただきます。
7	23	基本方針	高槻市は、昔、緑豊かな田園のまちといわれており、住宅の周りにも緑があった。しかし、現在では、庭のある住宅がなくなり、そこに庭のない住宅が複数立ち並ぶようになっている。また、新しい市民会館も緑を壊し作られており、市指定の緑化重点地区においても我々ボランティアしか活動をしていない。高槻市は、緑を大事にはしておらず、管理に手間やお金がかかる厄介者として扱っている感がある。私は、緑が人々に潤いを与え、繁栄していくのだと考えている。計画の方針として、「みどりと憩いの空間の充実」などを掲げるのであれば、しっかりと実行に移してもらいたい。	具体的な施策を展開中のご意見として、今後の参考にさせていただきます。
8	24	基本方針	都市環境について、「みどりと憩いの空間の充実」の中に、街中のみどりである街路樹の促進も追加してはどうか。	同基本方針中の「様々な主体による街なかの緑の保全と創出を通じて」に街路樹、広場、住宅地や工場などの生垣・樹木等を含んでいます。

No.	ページ	項目	意見概要	対応方針
9	25	基本方針	SDGs への貢献について、循環型社会には、廃プラ・産廃関連から 14 番、15 番を追加してはどうか。	廃棄物の適正処理は資源の持続可能な利用の促進に繋がること、ごみの減量やまちの美化はプラスチックごみなどの海への流出抑制に繋がることから、循環型社会の基本方針に SDGs の 15 番「陸の豊かさを守ろう」と 14 番「海の豊かさを守ろう」を追加します。
10	25	基本方針	循環型社会の「資源循環と廃棄物の適正処理」の中に、大阪市・京都市でやっている再生可能な紙の焼却場への持ちこみ禁止や使い捨て容器の削減に繋がるような文言を盛り込んでほしい。	具体的な施策を展開する中でのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
11	26	基本方針	「日々の暮らしや仕事の中で省 CO2 となる選択を習慣づけよう」の中で、事業者の取組を促進するようなことを盛り込んでほしい。	基本方針の中で、「市民・事業者が・・・より省エネ・温室効果ガス排出量の少ないものを選ぶなど」として、事業者も重要な役割を有していることを示します。 また、本方針の基となる「第2期たかつき地球温暖化対策アクションプラン」においては、「事業場におけるエネルギーマネジメントシステムの導入とエネルギー管理の徹底」を主な取組として示しています。
12	26	基本方針	「気候変動のリスクを知り、暮らしや事業活動への影響が小さくなるように備えよう」の中で、高槻市の強みである、エネルギーと食料の自給自足について触れてはどうか。	エネルギーの自給自足は、本方針の基となる「第2期たかつき地球温暖化対策アクションプラン」において、「太陽光発電、蓄電池や電気自動車等を活用した自律分散型エネルギーの導入」を主な取組として示しています。 食料の自給自足は、P23 自然環境の基本方針「良好に営まれている森林・農地の保全と創出」の中で取り組んでいくこととしています。

No.	ページ	項目	意見概要	対応方針
13	26	基本方針	SDGs について、地球環境には、気候変動への適応もあるため 11 番、14 番、15 番を追加してはどうか。	地球環境への対応は SDGs の様々な目標に繋がることから、基本方針に示す項目に該当するものだけを抽出して記載することとします。そのため、基本方針「気候変動のリスクを知り、暮らしや事業活動への影響が小さくなるように」に該当する 11 番「住み続けられるまちづくりを」のみ追加します。
14	26	基本方針	地球環境の「温室効果ガスの排出が少ない快適な建物と自動車に変えていこう」の中で、建物に関する記述はあるが自動車に関する記述がないのが気になる。	同方針内に、温暖化アクションプランにも掲げている「次世代自動車の普及」について記載します。
15	5	環境行動	大学が多くあるということも高槻の特徴の一つであると思う。環境活動の担い手として大学生を巻き込んでいくことも検討してはどうか。	具体的な施策を展開する中でのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
16	5	環境行動	「たかつき市民環境大学」、「たかつき環境行動ネットワーク」とあるが、「たかつき環境市民会議」が出てこない。これだけ歴史があり活動もしてきているので記載してほしい。例えば市民会議が活動しているような写真でもいい。	市域では様々な環境団体が長年にわたり活動されていることから、個別の記載は控えます。
17	7	生活環境	(1) 大気環境について、光化学オキシダントは、現行計画では、すべてで未達成となっているが、この計画では、光化学オキシダントに触れられていない。達成できていたものばかりを記載するのは都合がよすぎるのではないか。	大気環境については、環境法令の施行に伴い、1970 年代以降は全体としては改善傾向にあります。その中で、光化学オキシダントについては、環境基準を超過することはありますが、光化学スモッグ注意報の発令件数やその被害は 1970 年代に比べると低減するなど改善傾向にあることから、特段の記載は行っておりません。

No.	ページ	項目	意見概要	対応方針
18	8、9	生活環境	(4) 公共用水域の現状として、これは実感だが、子どもたちが川で遊ぶようになってきている。ひと昔前では、水質への懸念から川で泳ぐ子どもはいなかった。これは誇るべきことである。この点について、なにか書いてもいいのではないか。	BOD 濃度の改善により、「子どもが親水空間で水遊びする姿も見かけるようになってきた」旨を追記します。
19	9	生活環境	公共用水域の現状として、「事業場排水・生活排水による恒常的な水質汚染はほぼ見られません」とあるが、「恒常的な」水質汚染はなくて当たり前だと思うので、「ほぼ」を付けない方が良くはないか。	ご意見の通りですので、「ほぼ」を削除します。
20	10	生活環境	生活環境に係る苦情件数については、社会情勢の影響を強く受ける。苦情件数という切り口で現状を整理できるかは疑問である。	生活環境に係る苦情件数は、社会情勢の影響を強く受けることも事実ですが、直接的に住民の快適な生活環境を妨げている要素がどの程度あるのか、その内訳を把握できることから、記載しています。
21	11	自然環境	(2) 森林の保全の現状で、ポンポン山地区が大阪府立北摂自然公園に指定されていることが記載されているので、本山寺から神峰山寺周辺が、大阪府の自然環境保全地域に指定されていることも記載してはどうか。	本山寺周辺が、大阪府の自然環境保全地域に指定されていることも追記します。
22	11	自然環境	アライグマの捕獲頭数のグラフに、2019 年までのデータしか記載されていない、2020 年のデータが把握できているなら記載すべきではないか。	統計データとして 2020 年度値がすでに明らかにされているものは、データを更新します。 なお、アライグマの捕獲頭数については、統計データの解釈が難しいことから削除します。
23	11、23	自然環境	みどりの基本計画でも、生物多様性について、かなり見直しをすると聞いている。この環境基本計画でも生物多様性について、もう少し触れてもいいのではないか。	みどりの基本計画と整合を図り、必要箇所等を追加します

No.	ページ	項目	意見概要	対応方針
24	11、12	自然環境	台風による倒木を炭にして芥川の水質向上につなげてはどうか。また、灰にして農業に活用するのはどうか。このように、山の材を、川や農業に使うなど、環境の繋がりや資源の循環を考えていくことが、自然環境を保全するためには必要ではないか。	具体的な施策を展開中でのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
25	11、12	自然環境	もともと山が守られていたのは、林業を生業としていたからである。今は林業が衰退しており、薪や炭、木材は売れないため、山を育てようという人がゼロである。これからは、林業振興という形で山を保全していくだけではなく、山が持つ多面的機能を保全するために手入れをしていく必要があることを記載すべきではないか。	森林の有する多面的機能の重要性については、2.4 自然環境の現状と課題－(2)森林の保全において、現状や課題に記載しています。
26	12	自然環境	(2) 森林の保全の今後の課題で、「甚大な台風被害への復旧」とあるが、「甚大な台風被害の復旧」にすべきではないか。	「台風被害からの森林の再生」に表現を見直します。
27	13	自然環境	「身近な自然環境とのふれあいを実感している市民の割合」が87.3%とある。確かに、高槻は、面積の約5割が森林であり、見た目は緑豊であると言われているが、現実とは違う。実際に山に入り施業している立場から言うと、決して良好な緑ではなく荒廃している。これらを、現状と課題の中に、記載しなければ、市民には正しい現状が伝わらないのではないか。	P12～の(2)森林の保全の現状に、管理が充足していない森林が残されていることを追記します。

No.	ページ	項目	意見概要	対応方針
28	13	自然環境	萩谷で竹林の整備をしているが、竹の子はイノシシ・シカに食べられてしまう。風の強い日には、折れた枝などが次々と落ちてくる。外から見ると緑であるが、現状は良好とは言えない。このような状況を現状と課題に記載すべきではないか。	P12～の(2)森林の保全の現状に、管理が充足していない森林が残されていることを追記します。また P11～の(1)生態系の現状では、イノシシ・シカによる食害についても記載しています。
29	17	循環型社会	エネルギーセンターの第3工場がバイオマス発電所として認定されているが、ホームページなどでもそれに関するものがない。写真を載せるだけではわからないので第一工場、第二工場とどう違うのかをアピールしてもいいのではないか。	本計画においては、2.6 循環型社会の現状と課題－(1)ごみ処理状況の中で、発電施設のない第1工場の運用を停止し、高効率な発電が可能な第3工場の運用を開始した旨を記載しています。
30	17	循環型社会	エネルギーセンターに搬入されるごみ量の推移のグラフに、2019年度までのデータしか記載されていない、2020年のデータが把握できているなら記載すべきではないか。	2020年のエネルギーセンターに搬入されるごみ量を把握し、データを追加します。
31	19	地球環境	「温室効果ガス排出量と排出係数」のグラフについて、どこの排出量かが書かれていない。排出係数と棒グラフの頂点が重なっており見づらいのではないか。また、排出係数だけでは何のことか分からないのではないか。	本文中では市域の温室効果ガス排出量と示していますが、グラフにも市域である旨を追記します。また、排出量と排出係数のグラフが重複して見づらいことから、排出係数はグラフから削除し、別に表で示します。 排出係数については、その定義をわかりやすく本文中に記載します。
32	19	地球環境	市域の温室効果ガス排出量の削減目標を見直す際は、他の自治体にも、見劣りしない目標を設定してほしい。	市域の温室効果ガス排出量の削減目標を見直す際の参考にします。

No.	ページ	項目	意見概要	対応方針
33	28	指標	方向性を示しているが、どこまで上げるのかなどが見えてこない。目標値を参考でもいいので、記載した方が分かりやすい。先進自治体が目標としている数値でもいいと思う。	環境分野においては、明確な目標値を設定することが難しいという課題があったことから、現状値に対する方向性を記載しています。
34	-	全体	環境基本計画が策定され20年近くさまざまな取組を行われてきたが、その結果どのようになったのか。今まで計画を立て Plan し、Do をしてきた。では Check はしたのか。それから Action すべきである。事務的に、計画を作り直しました、ではなく、根本的な問題が何であるかが知りたい。	平成 14 年に環境基本計画を策定し、以降 5 年毎にそれまでの振り返りと課題を整理し、改訂に取り組んできました。今回の改訂にあたっては前計画からの振り返りと課題を整理し、第 2 章高槻市の環境の現状と課題に記載しています。また、毎年度の取り組みについては、「たかつきの環境」に取りまとめ、市民意見を添えて環境審議会でご意見を頂き、ブラッシュアップに努めているところです。
35		全体	文字のフォントをユニバーサルデザインで表記してほしい。	BIZ UD ゴシックなど、ユニバーサルデザインに対応したフォントへの変更を検討します。